

2021年10月26日
イオン北海道株式会社

**北海道遺産協議会へ2020年度寄付金約1,415万円を贈呈
発行10周年を記念して「10年記念ほっかいどう遺産WAON」を発行
これからも北海道の宝物「北海道遺産」を支援します**

イオン北海道株式会社（以下、当社）は、10月26日（火）に開催される『令和3年度北海道遺産交流会議「北海道遺産サミット」』において、2020年度「ほっかいどう遺産WAON」の寄付金をNPO法人 北海道遺産協議会（以下、北海道遺産協議会）へ贈呈します。また、「ほっかいどう遺産WAON」の発行10周年を記念して「10年記念ほっかいどう遺産WAON」を10月27日（水）より枚数限定で販売しますのでご案内申し上げます。



< 10年記念ほっかいどう遺産WAON >

北海道とイオン株式会社は、双方が持つ資源を有効に活用し、北海道の一層の活性化と道民サービスの向上に協働して取り組むことを目的に、2011年7月に包括連携協定を締結し、その取り組みの一つとして「ほっかいどう遺産WAON」を発行いたしました。このカードをイオングループ各店舗やWAON加盟店で利用していただくことにより、その利用金額の一部を北海道遺産協議会に寄付し、各地の北海道遺産を次の世代に引き継いでいく活動に役立てていただいております。

2020年度の「ほっかいどう遺産WAON」の寄付金総額は1,415万6,013円となり、寄付金の一部は、北海道遺産である札幌軟石の歴史を気軽に知ることができるツール制作や縄文遺跡群を核とする道内地域周遊促進プロジェクトなど18件に活用されます。なお、2011年度からの寄付金累計は約1億1,268万円となりました。

そして、「ほっかいどう遺産WAON」の発行10周年を記念して、2020年度に北海道遺産協議会主催で実施された『Bunkazai Design Contest 2020』のコースター部門で入賞した デザイナーの吉田未玲さんがデザインした限定バージョン「10年記念ほっかいどう遺産WAON」を道内の「イオン」「マックスバリュ」「ザ・ビッグ」など125店舗にて枚数限定で販売します。

当社は、今後ともお客さまに便利にご利用いただけるWAONを通じて、未来へ伝えたい北海道の文化や自然などの保全活動を支援してまいります。

【「ほっかいどう遺産WAON」寄付金贈呈について】

1. 贈 呈 先：NPO法人 北海道遺産協議会
2. 贈 呈 金 額：1,415万6,013円
3. 贈呈金額対象期間：2020年3月1日～2021年2月28日

【「10年記念ほっかいどう遺産WAON」の発行について】

1. 販売日：2021年10月27日（水）
2. 販売場所：道内の「イオン」「イオンスーパーセンター」「マックスバリュ」「フードセンター」「ザ・ビッグ」125店舗 ※北海道内限定販売となります。
3. 発行枚数：10,000枚 ※なくなり次第販売終了となります。
4. 発行手数料：1枚300円（税込）
5. チャージ可能金額：上限5万円 ※一回あたりのチャージ限度額は4万9千円までとさせていただきます。



デザイン作成者：吉田未玲さん

〈吉田さんからのデザイン紹介〉

広い北海道の大地に有形・無形の素晴らしい財産がある事を道民でも知らずに過ごしていることもあると思います。生活に密着しているWAONで、それらのイラストを目にすることにより、もっと身近にもっと気軽に感じ、興味を持つきっかけになればとこのデザインを着想しました。今年で10年の節目を迎えた「ほっかいどう遺産WAON」のお祝いと、未来の北海道人への贈り物「北海道遺産」をイメージし、リボンをあしらったにぎやかな券面としました。

【本件に関するお問い合わせ】

イオン北海道(株)環境・社会貢献・広報・IR部広報・IRグループ 電話：011-865-9111

◇SDGsの取り組み

SDGs（持続可能な開発目標）は、持続可能な世界を実現するために国連サミットで採択された、2030年までの国際目標です。

この取り組みはSDGsの目標4、8、9、11、14、15、17の達成に貢献します。イオン北海道は今後もSDGsの取り組みを推進してまいります。



ご参考

■「ほっかいどう遺産WAON」の概要について

発行日：2011年7月28日

発行手数料：300円（税込）

累計寄付金額：1億1,268万7,026円

発行枚数：約28万枚（2021年9月末現在）

寄付活用先：北海道遺産に活用

使用能力所：道内の1万2,000カ所（2021年8月末現在）

※自動販売機・タクシー・ドライバー端末を除く

使用箇所一例：イオン系列スーパーや「ローソン」、
「ファミリーマート」、「セイコーマート」、
「ツルハ」、「サツドラ」など



■ 2020年度寄付金による「ほっかいどう遺産WAON」助成先活動一覧

No	遺産の名称	地域	団体名称	活動の名称	助成額
1	「スキーとニセコ連峰」、「アイヌ語地名」、「アイヌ文様」	ニセコ地域、北海道各地	ニセコ酒蔵ツーリズム協議会	北海道遺産「スキーとニセコ連峰」の四季を通じた魅力再発見事業～酒蔵マップ制作～	500,000
2	昭和新山国際雪合戦	社管町	昭和新山国際雪合戦実行委員会	次世代につなげるための雪合戦受入環境整備及び学習会	500,000
3	利尻島の漁業遺産群と生活文化	利尻島	利尻しまじゅうエコミュージアム	ほっかいどう遺産「利尻島の漁業遺産群と生活文化」魅力発信事業	500,000
4	札幌軟石	札幌市	札幌軟石ネットワーク	札幌軟石の歴史を気軽に知るツール制作 (①AR整備・②小冊子原稿)	500,000
5	天塩川	流城市町村	テッシ・オ・ベツ賑わい創出協議会 (構成団体: 士別市、名寄市、和寒町、剣淵町、幌加内町、下川町、美深町、音威子府村、中川町、天塩町の10市町村)	松浦武四郎絵本普及事業	500,000
6	内浦湾沿岸の縄文文化遺跡群	函館市、伊達市など	縄文DOHNANプロジェクト	縄文遺跡群を核とする道南地域周遊促進プロジェクト	500,000
7	上ノ国の中世の館	上ノ国町	上ノ国観光ガイド協会(上ノ国町)	中世の館の新たな史実を発信!! 子供たちとつくる「懸仏絵本」プロジェクト	500,000
8	北海道の馬文化	北海道各地	北海道和種馬保存協会	北海道和種馬による介護予防乗馬	480,000
9	内浦湾沿岸の縄文文化遺跡群	函館市、伊達市など	一般社団法人 ワールド・ミート・ジャパン	オンラインで大船遺跡の魅力を発信	450,000
10	開拓使時代の洋風建築	札幌市	一般財団法人北海道歴史文化財団	豊平館の3D画像化によるアーカイブ活動	400,000
11	蝦夷三官寺	伊達市、様似町、厚岸町	北海道中央バス株式会社シーピーツアーズカンパニー	未来に伝えるアイヌと和人の関係史「蝦夷三官寺」バスツアー	380,000
12	北海道の馬文化	北海道各地	一般社団法人umanowa(うまのわ)	ひだかうまキッズアドバンス	350,000
13	根釧台地の格子状防風林	中標津町など	中標津町	「根釧台地の格子状防風林」周知事業	300,000
14	函館西部地区の街並み	函館市	株式会社函館島	北海道遺産「函館西部地区の街並み」を持続可能にするためのツールの開発・提供「函館カラープロジェクト」	300,000
15	開拓使時代の洋風建築	札幌市	一般社団法人 さっぽろ下町づくり社	「旧永山邸からはじまる、開拓使時代のあしあと探しプロジェクト」	270,000
16	天塩川	流城市町村	士別市	天塩岳避難小屋修繕	220,000
17	サケの文化	北海道各地	一般社団法人石狩シェアハピシティ計画	北海道遺産「サケの文化」の次世代担い手発掘プロジェクト	200,000
18	ピアソン記念館	北見市	特定非営利活動法人ピアソン会	特定非営利活動法人ピアソン会「20周年記念誌」	150,000

* 北海道遺産の一例 *



〈札幌軟石〉



〈内浦湾沿岸の縄文文化遺跡群〉



〈ピアソン記念館〉

■北海道遺産について

次の世代へ引き継ぎたい有形・無形の財産の中から、北海道民全体の宝物として選ばれたのが「北海道遺産」です。北海道の豊かな自然、北海道に生きてきた人々の歴史や文化、生活、産業など、各分野から選ばれております。2001年10月22日に第1回選定分25件が、2004年10月22日に第2回選定分27件が、2018年11月1日に第3回選定分15件が決定・公表され、北海道遺産は総計67件となりました。

今年は北海道遺産の第1回選定から20周年となります。これを機に、新たな北海道遺産を選定する第4回選定の募集スタートや、10月13日を「どーいさんの日」としてPRするなど、さらなる普及啓発活動を推進するとともに、オンラインセミナーや、「食」で北海道遺産をつなげるプロジェクトなどで北海道遺産地域との交流を深める事業を実施します。



■北海道との取り組みについて

当社は、北海道との包括連携協定を基に、ご当地WAONを通じた寄付をはじめとして、まちづくり活動の推進や環境保全活動など、さまざまな取り組みを実施しております。

一例として、医療現場の第一線で対応されている医療従事者の皆さまの力になりたいとの思いから、「新型コロナウイルス医療従事者支援募金」を道内168の店舗・事業所で実施したほか、サッポロビール株式会社さまとの共同企画で、「サッポロ生ビール黒ラベル」の売上本数に応じて、北海道が実施する地域医療を守るための寄付プロジェクト「エールを北の医療へ」に寄付するキャンペーンを実施しました。そのほか、北海道に貢献する意欲のある若者の海外での挑戦を官民一体となって応援する「ほっかいどう未来チャレンジ基金」の店頭での募金活動や、埼玉県にある商業集積「イオンレイクタウン」における北海道フェアへの出展誘致などを実施しております。



▶サッポロ黒ラベルの売上の一部を「エールを北の医療へ！」に寄付



▶イオンレイクタウン「北海道フェア」